

Merry Christmas

クリスマスは教会で

本当のクリスマスをご一緒に過ごしてみませんか

★クリスマス礼拝

2020年12月20日(日) 午前10時30分～

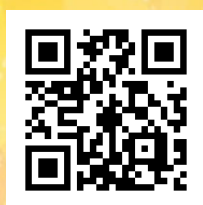
★クリスマス・イブ燭火礼拝

2020年12月24日(木) 午後7時～

教会ホームページからも礼拝のライブ配信の映像をご覧ください。

日本キリスト教団 横浜菊名教会

URL: <https://kikuna.jpn.org/>



ご家庭でクリスマス礼拝を・・・もってみませんか。

クリスマスのとき、毎年、ご家族や友人たちと楽しく過ごしておられると思います。あるいはお一人で寂しくという方もおられるかもしれません。今年は教会で私たちと一緒に祝いませんか？どなたでもおいでください。お待ちしております。

でも、ちょっと教会に行くのは、と戸惑われる方は、ご家庭であるいはお友達とクリスマスの本当の意味を覚えて、このプログラムを使って礼拝を試してみてください。キャンドルの灯りの中で、心静かに過ごす時は15分くらいです。その後、楽しく食事をしてはいかがでしょう。良いクリスマスをお過ごしください。

それもなかなか難しい、という方のために、今年は web で、教会でもたれるクリスマス・イブ燭火礼拝の様子を配信しています。ぜひご覧いただき、心を合わせてご参加ください。

<プログラム>

◆司会者：今からクリスマス礼拝をします。

(ローソクに灯りをつけて、電灯を消します)

◆讃美歌：111番(裏面を見て、みんなで歌ってください)

◆聖書：ルカによる福音書2章1～7節

そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのこの自分の町へと旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけの MARIA と一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、MARIA は月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

◆説教：(どなたかが、ゆっくり読んでください)

ヨセフさんと MARIA さんの赤ちゃんとしてお生まれになった、神さまのみ子イエス・キリストの誕生について、ルカによる福音書から聞きましょう。赤ちゃんの名前は「イエス」と名付けられました。イエスさまはヨセフさんのお家で生まれたものではありませんでした。ローマ帝国の皇帝の命令で、住民登録をしなければならなかったからです。それでお腹の大きな MARIA も、ヨセフと一緒にベツレヘムに行かなければなりませんでした。ベツレヘムの町はそんな人たちでいっぱいでした。泊まる宿屋も見つけられませんでした。やっと貸してもらえた馬屋で人知れず生まれたのでした。



けれども、そんな世の中に動かされ、さみしく生まれたように見えるイエスさまの誕生が、実は神様の計画の実行に用いられていました。ダビデの町ベツレヘムで、世界の救い主(神の子・キリスト)がダビデの血筋から生まれることが、聖書の中で預言されていたからです。

しかもイエスさまは「月が満ちて」お生まれになりました。マリアの子どもとして、人間の赤ちゃんそのものとしてお生まれくださいました。それは、高いところから私たち人間を見下ろす神としてではなく、同じ人間として、喜びも悲しみも、苦しみもそして罪までも引き受けて下さるためでした。私たちのすべてを担ってくださる救い主の誕生、それがクリスマスです。

イエスさまは「布にくるんで飼い葉桶に」寝ておられます。初着に包まれ飼い葉桶がベビーベッドです。赤ちゃんはそのままにしておかれたら死んでしまいます。ほんとうに弱い存在です。イエスさまは力強い救い主なのに、無力なもつとも弱い者としてお生まれくださいました。私たちの弱さ、力の無さを知って下さっているからです。

私たちは生きていくのに、強がったり卑屈になったりすることはありません。私たちはありのままの自分で生きてよいのです。イエスさまが私たちの弱さも悲しさも、苦しいことも、全部知っていて引き受けて下さるのです。そのイエスさまに、私たちがすべてをお任せして、自分らしく生きていいのです。そしてイエスさまは、私たちの悲しみを喜びに、苦しさを力に変えて下さいます。

私たちはイエスさまを信頼して生きることが出来ます。そのとき私たちは平安と幸いに満たされます。そこに救いがあるからです。クリスマスは私たちにそのことを告げています。

◆お祈り(司会者がゆっくり読んでください)

神さま、この夕べ、イエスさまの誕生をお祝いできましたことを感謝いたします。私たちは、生きていく中でいくつもの苦しい出来事に出会い、自分の力の無さに悲しくなってしまう。けれども、あなたはそんな私たちのことをすべて知って下さり、み子イエスさまを私たちのもとに送って下さいました。ありがとうございます。どうぞ私たちが、すべてをイエスさまにお任せして、平安の内に生きることが出来るようにして下さい。どうぞ私たちがあなたの力でみたまされますように。イエスさまのお名前によってお祈りいたします。

◆讃美歌： 109番(みんなで歌います)

◆黙 禱 (しばらく黙って、心の中で祈ります)

◆最後に「クリスマスおめでとうございます！」(全員で)



讃美歌 111 「神のみ子は」



♪=100 か み の み こ は こ よ い し も ベ ッ レ ヘ
ム に う ま れ た も う い ぎ や と も よ も
ろ と も に い そ ぎ ゆ き て お が ま ず
や い そ ぎ ゆ き て お が ま ず や アーメン



讃美歌 109 「きよしこのよる」



♪=96 き よ し こ の よ る ほ し は ひ か り
す く い の み こ は ま ぶ ね の な か に
ね む り た も う い と や す く アーメン

